

平成30年度第8回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 平成30年11月21日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師)
和泉 孝治(岐阜県産婦人科医会理事)

オブザーバー: 川部 京子(岐阜市保健所地域保健課 感染症対策係長)

事務局 : 居波 由紀子(保健医療課 感染症対策係長)
上津 ひろな(保健医療課 主任技師)
田村 直彦(保健環境研究所 疫学情報部長)
酢谷 奈津(保健環境研究所 専門研究員)

4 議 題 (進行:馬場委員)

- (1) 2018年第40週～第43週、10月の感染症発生動向について
- (2) その他情報提供

5 議事要旨

【2018年第40週～第43週、10月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの報告と委員のコメントについては資料のとおり。
(委員からのその他のコメント等)
- ・風しん、伝染性紅斑が増加傾向にあり、ともに妊婦への感染が心配される。
- ・10月に発生した麻疹患者のワクチン接種状況はどうであったか。
→(事務局)届出時の情報では接種歴不明であった。
- ・修飾麻疹であったこと、二次感染例がなかったことから、接種歴があったものと推察される。

【その他情報提供】

○急性弛緩性麻痺・エンテロウイルスD68について

- ・事務局(保健環境研究所)から急性弛緩性麻痺の報告状況、エンテロウイルスD68の検出状況等について資料のとおり情報提供。
(委員からのコメント等)
- ・エンテロウイルスD68は呼吸器検体からの検出例が多いようであるが、便からの検出報告もあるか。
便から検出されるのであれば、院内でもおむつの取扱い等の感染防止対策も重要となる。
→(事務局)今年9月の広島市の急性弛緩性麻痺患者の検出例では、便検体からもPCRによりエンテ

ロウイルス D68 遺伝子が検出されたと報告されている。

○感染症関連通知等

- ・事務局（保健医療課）から下記通知等について情報提供
 - ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則第4条第6項の規定に基づき厚生労働大臣が定める五類感染症及び事項の一部を改正する件の施行に伴う各種改正について（通知）
 - ・季節性インフルエンザワクチンの供給について（情報更新）
 - ・乾燥 BCG ワクチン（経皮用・1人用）の添付溶剤の品質について
 - ・平成30年度今冬のインフルエンザ総合対策について
 - ・30代～50代男性を対象とした無料風しん抗体検査を実施（拡充）
 - ・インフルエンザ様疾患による学級閉鎖（岐阜市）

（委員からのコメント等）

- ・無料風しん抗体検査の対象者の要件である「風しんにかかったことがない」、「風しんワクチンを接種したことがない」は自己申告によるものでよいのか。
→（事務局）岐阜県では、自己申告によることとしている。